

令和6年4月3日(水)奈良新聞より抜粋

力強く入学宣言する入学生＝2日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学



奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学（池内ますみ学長）で2日、創立から九十余年の歴史の中で最後となる入学式が行われ、生活未来科34人、地域こども学科28人の計62人が新たな学びのスタートを切った。同学は2025年度以降の学生募集を停止する。構内の桜が入学を祝うかのように咲

奈良佐保短大 最後の入学式

く中、来賓や保護者らに見守られて入学生が入場。学生一人一人の氏名が読み上げられて入学が許可された。入学生を代表して、生活未来科の奈加優芽音さん（18）＝橿原市＝が、「それぞれの夢の実現に向け学生としての本分を尽くす」と力強く宣言。池内学長は「学びは受け身ではなく、

夢実現を「全力支援」

自ら積極的に学び、問題を発見し、解決への方法を見つけることが重要。なりたい自分に近づくための近道はなく、毎日一歩ずつ努力を積み重ねて実現できる。本学が掲げる『ほっとかない教育』で、皆さんを全力でサポートする」と入学を歓迎した。

同大は1931（昭和6）年に、現在の奈良女子大学の同窓会「佐保会」により開設された縁から、奈良女子大学の高田将志学長が祝福に駆け付け、「2年間で大きく成長し、社会を支える大きな力となることを期待する」と入学生にエールを送った。

式後、池内学長は「募集停止の発表後、受験生の各学校を訪ねて説明した。一人の辞退者もなく入学してくれたことに感謝し、大学の責任を全うする覚悟を新たにしたい」と語った。

📷 写真をもっと
奈良新聞デジタル